

「落花生」生育情報（第3報）

～ 基本技術を励行して収量増加！ ～

※本資料は、落花生生産者へ落花生の生育情報を提供するものです。

調査時点での生育状況をまとめたものであり、本年の収量を保証するものではありません。

令和2年9月9日

千葉県農林水産部

生産振興課

1 生育状況

7月は、平均気温や日照時間が平年を大きく下回り、降水量も多くなりました。そのため、さや実数は平年よりやや少なくなりました。

また、さや実が肥大する8月の天候は、平年と比較して気温は高く、日照時間は平年より長く推移しました。

9月1日時点のさや実数は、作況調査ほ及び落花生研究室のほ場では、7月の気温や日照の影響からは回復傾向にあります。平年と比較して少なくなっています。

表1 作況調査成績（9月1日調査）

品種名	年次	開花期	さや実数 (個/m ²)		生さや実重 (g/m ²)	乾燥さや実重 (g/m ²)	上さや 不稔歩合(%)
			さや実数 (個/m ²)	上さや数 (個/m ²)			
千葉半立	本年	7/9	170	56	595	163	4.0
	前年	7/17	117	53	383	87	2.0
	平年	7/9	215	90	739	178	2.2
ナカテユタカ	本年	7/8	237	112	757	292	2.5
	前年	7/3	255	186	903	294	2.3
	平年	7/1	281	150	889	288	3.1
おおまさり	本年	7/7	134	48	749	196	12.7
	前年	7/5	161	30	791	135	0.0
	平年	7/7	173	40	838	161	1.4
千葉 P114 号 (Qなっつ)	本年	7/8	190	95	640	202	3.0
	前年	7/14	163	105	557	162	0.8
	平年	7/10	245	121	797	226	0.5

* 本年値は、各品種の調査結果の平均値。「千葉半立」は千葉・印旛・香取の3地区、「ナカテユタカ」は千葉・海匝・君津の3地区、「おおまさり」は印旛・君津の2地区、「千葉 P114 号」は、千葉、印旛、香取、長生の4地区。

* 平年値は、平成25年から令和元年（過去7年間）の調査データから最大・最小を除く平均。ただし、「千葉 P114 号」のみ平成28年から令和元年（4年間）の平均。

表2 (参考) 落花生研究室(八街市)の作況(本年の値、9月1日調査)

は種日	品種名	開花期	さや実数 (個/m ²)	(さや実数のうち)		生さや実重 (g/m ²)	乾燥さや実重 (g/m ²)	上さや 不稔歩合(%)	収穫期 目安(※)
				上さや数 (個/m ²)	生さや実重 (g/m ²)				
5月20日 (標播)	千葉半立	6/30 (±0)	145 (50%)	27 (22%)	471 (47%)	114 (41%)	8.8 (+7.8)	10/3 (±0)	
	ナカテユタカ	6/28 (+1)	184 (64%)	40 (35%)	440 (51%)	160 (53%)	4.0 (+1.7)	9/17 (+1)	
	おおまさり	6/26 (±0)	116 (55%)	15 (30%)	520 (48%)	120 (49%)	8.0 (+7.5)	9/26 (+1)	
	千葉P114号	6/29 (+1)	217 (81%)	63 (55%)	649 (75%)	235 (80%)	2.0 (+1.2)	9/18 (+2)	
6月12日 (晩播)	千葉半立	7/12 (-2)	122 (51%)	49 (83%)	473 (60%)	117 (76%)	4.0 (+3.5)	10/24 (-6)	
	ナカテユタカ	7/10 (-3)	129 (52%)	55 (57%)	455 (58%)	140 (64%)	2.0 (+0.7)	9/26 (-6)	
	おおまさり	7/10 (-3)	61 (40%)	26 (90%)	368 (42%)	82 (57%)	5.6 (+5.6)	10/4 (-8)	
	千葉P114号	7/12 (-2)	145 (61%)	64 (70%)	502 (64%)	146 (72%)	4.0 (+3.5)	9/30 (-3)	

※落花生研究室の栽植密度は、「千葉半立」、「ナカテユタカ」、「千葉P114号」は5,128株/10a。「おおまさり」は2,564株/10a。カッコ内は平成28～令和元年の平均値対比を示す。
 収穫期の目安は、開花期後の標準日数(全て煎莢用)で算出。

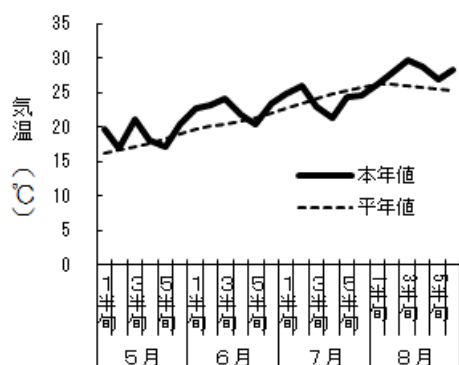


図1 気温の推移(アメダス、佐倉)

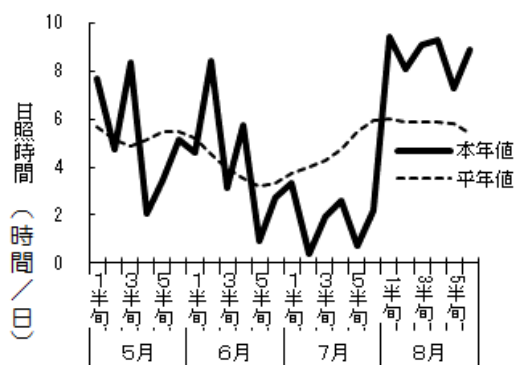


図2 日照時間の推移(アメダス、佐倉)

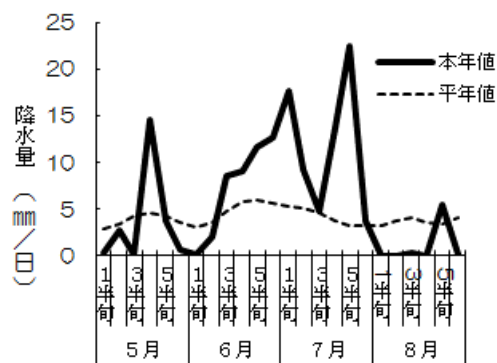


図3 降水量の推移(アメダス、佐倉)

2 これからの管理のポイント

(1) 「試し掘り」で適期収穫

落花生の掘取時期の目安は、下表のとおりです。

今年は、生育や開花期にばらつきが見られますので、収穫時期が近づいてきたら、必ず試し掘りをして、収穫適期を逃さないように気をつけましょう。砂地の地域では収穫期が早まるので、早めに試し掘りをしましょう。

表3 開花期からの掘取時期の目安

	千葉半立	ナカテユタカ	おおまさり	千葉P114号
開花期からの掘取時期の目安	95日後	80日後	85日後 (ゆで莢用) 90日後 (種子用)	80日後

(2) 適切な乾燥の実施

掘り取った落花生は、5～7日間の地干しの後、風通しの良い場所を選んで野積み(ボッチ積み)やトンネル乾燥を行い、さらに乾燥させます。

〔野積み(ボッチ積み)〕

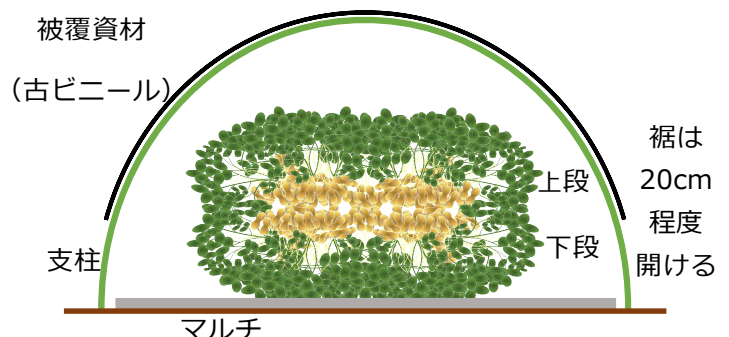
野積みは、湿気がこもらないように管理することが大切です。風通しの良い場所に小さく野積みし、頂部をブルーシートや稲わら等で覆い、雨をしっかりと防ぎましょう。透明ビニールシートは熱がこもりやすく、カビの発生要因となるため、使用しないでください。特に早い時期に収穫した品種は、茎葉が多く蒸れやすいため、注意が必要です。



野積み

〔トンネル乾燥〕

トンネル乾燥は、収穫後3～7日程度地干しを行った後に、降雨の前に雨よけトンネルに入れて乾燥を行う方法です。カビを発生させることなく、野積みによる乾燥と同じ品質の落花生を得ることができます。トンネル内では、地干しした株の莢が内側になるよう上下2段で積み、2～3週間程度乾燥させます。



トンネル乾燥の模式図

詳細は、千葉県ホームページ内のフィールドノート平成30年9月「雨よけトンネルを活用した食味を落とさない落花生の乾燥方法」

(<https://www.pref.chiba.lg.jp/ninaite/network/field-h30/hata-2018-09.html>)を参照してください。

